



## 2/21

# 八地申第6号 2022年3月 ダイヤ改正に関する団体交渉 開催!

1. 乗務員職場の基本となる出面数における必要な要員数を明らかにすること。
2. 業務の繁閑等に応じた一日当たりの出面数（作業ダイヤ数）を柔軟に設定するとした根拠を示すこと。

→業務の繁閑によって駅業務の穴埋めを乗務の乗務員が行うのか？

3. 上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合があるとした目的と根拠を明らかにすること。また、どのような場合に業務を指示する考えがあるのか具体的に明らかにすること。
4. お客様のご利用状況等に応じて柔軟にダイヤ設定をしていく考えも提案時に示されたが、その判断基準と根拠及び考え方を明らかにすること。
5. 事業便列車に指定されている行路については、乗務員の出場時間を指定し、駅社員との連携がスムーズに行える体制を構築すること。
6. 予定臨の運行計画について、会社の考えを明らかにすること。また、社員への周知を行い、計画的な業務遂行が行える体制とすること。
7. 乗務員の相互運用について、今後の考え方を明らかにすること。

→今後の営業統括センターで、乗務経験がある駅社員が、様々な業務経験のもと、**営業統括センターのキーマン**として乗務しても良いのでは？

・考え方は施策の提案時に1日の業務量の変化により出面数が変化したときに示す。1日の業務量は、変形・予備・波動・事務を含む。

←確認

・**運輸は現在のところ設定の変更はない。**

・駅は業務の繁閑により1日の出面数の変更はある。柔軟な働き方の推進に向けての意識改革が目的である。

←注目

・**業務の繁閑で乗務員が駅業務の穴埋めをすることは無い。あくまでも営業統括センターの委員会の連携である。**

・現行主務職が当務主務の業務をしたり、管理者が乗務(立川運転区・立川車掌区・甲府運輸区)している。拡大していく考えはある。希望がすべて通るわけではないが、社員の活躍フィールドを拡げ、成長のチャレンジをするためにコミュニケーションを取り業務を行っていく。

・柔軟なダイヤ設定は、八王子で言うと特急はちおうじ9号の不定期化であり、お客様の動向を見つつ運行の判断をしていきたい。乗務員の手配などあるので早めの判断をしていく。

・事業便指定列車は、乗務カードに記載していく。

・駅社員との連携がスムーズに行える体制を構築していく。

・予定臨の運行計画については前広に提供していく考えである。

←確認

・**今改正について運転士・車掌の相互運用を行うことはない。**

・**相互運用の教育スケジュールも現在計画はないが、今後、駅→運転士・車掌乗務の考えはある。**